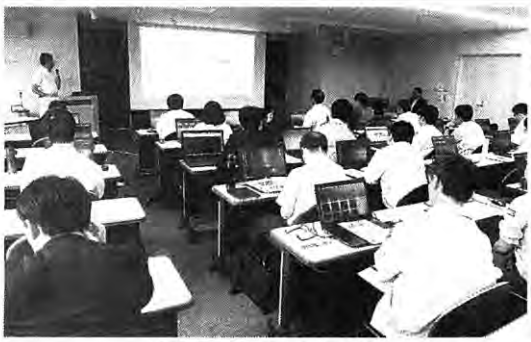
道路計画・図面化を実習

CUG新潟分会が第2回会合

3次元モデルの利活用を推進し、CIMの円滑導入に取り組むCUG（シビル・ユーザー・グループ）新潟分会（分会長・門口健吾キタック技術第二部構造グループチームリーダー）は20日、18年度第2回の会合を新潟市中央区で開催し、会員約40人が参加した。

会合では、スポンサー情報提供として、ライカの担当者が、最新レーザースキャナ「RTC360」について説明したほか、エムティシーの担当者は、「道路設計者のためのBIM・CIMソリューション2018」と題し、ソフトウェア「APS—21シリーズ」を紹介した。



体験実習が行われた会合

続いてBIMデータ連携ハンズオン（体験学習）が行われ、参加者は、オートデスクのソフトウェアを活用して道路計画の立案と詳細な検討および図面化について学習していた。

CUG（会長・藤澤泰雄八千代エンジニヤリングCIM推進室長）は、07年に発足。会員は約2000人。新潟のほか、東京、大阪、広島、北海道に分会を設置し、CIMスペシャリストの育成や関連セミナーの開催など取り組んでいる。

新潟分会の次回会合は、8月22日に長岡技術科学大学での開催を予定。学生への公開も視野に調整を進めている。